

目標-

| 目標 - 情報化施工の普及推進による工事の品質向上 情報化施工による施工中のデータの有効活用を行い、工事の一層の品質向上とコスト削減を可能とする。 | | | | | | 利用フェーズ | 施工、施工管理 |
|---|----------------|-----------------|---------|--|-----------|--------|-----------|
| 利用者 | 本省 | 本局 | 事務所 | 出張所 | 調査 設計 施工 | 利用業務 | 施工、監督検査 |
| 現状・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・土工等の出来形検査は丁張りにより把握しているため費用・時間がかかる。 ・締固めの品質検査は、測点のみのサンプル検査であり、面的な品質の確認となっていない。 ・機械土工は機械操作をするオペレータの能力に大きく依存しており、今後予想される熟練オペレータ不足への対応が必要。 | | | | 目標 ①)情報化施工による施工管理手法および監督・検査の高度化・効率化 「情報化施工推進会議」及び中部地整「建設ICT導入研究会」と連携 | | | |
| <p>従来施工 排土板を操作 目視で確認 繰返し作業 1cm高い 丁張位置 補填 (施工後のチェック)</p> | | | | <p>情報化施工 受光器 排土板を測定 トータルステーション 丁張り不要 自動制御 高精度 チェック不要</p> <p>品質計測の高度化 2回 3回 管理ブロックごとの締固め回数をカウント</p> | | | |
| 実施項目 | H20 | H21 | H22 | H23～ | 行動計画の分類 | | |
| | | | | | システム開発・改良 | 工事への適用 | 既存サービスの活用 |
| 新 施工管理データを搭載したTISによる出来形管理要領(案) | 要領(案)の運用 | 要領(案)の改良 | 管理要領の導入 | → | | | j |
| 新 TIS・GPSを用いた盛土の締固め情報化施工管理要領(案) | 要領(案)の運用 | 要領(案)の改良 | 管理要領の導入 | → | | | j |
| 新 情報化施工に対応した新たな施工管理要領やマニュアルの整備 | 新たな要領(案)の抽出・検討 | 試験施工の実施要領(案)の作成 | 試行 | 運用 | | | j |